

## 1) はじめに

「令和3年度U12部会新型コロナウイルス対策ガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会)バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第3版)および、茨城県バスケットボール協会が作成する「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」等を参照し、作成しております。なお、状況に応じて、本ガイドラインについても見直すことがあり得ることにご留意ください。

## 2) 基本方針

本ガイドラインの策定にあたっては、以下の項目を基本方針として掲げました。

### 1 安全最優先

生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供します。今大会は観客に制限を設けて実施とします。

### 2 「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

Beforeコロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計します。

### 3 FIBA再開ガイドライン

FIBA(国際バスケットボール連盟)より再開におけるガイドラインが公開されており、バスケットボール競技の特性を考慮しながら作成します。

### 4 不当な扱いや差別などの禁止

感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱う事はせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。

## 3) 感染対策意識を高めましょう

### 1 参加者(選手、審判、指導者、運営者、保護者など全ての関係者)は再度、日常および競技会・講習会等参加時の感染対策の徹底を意識してください。

①マスク着用

②ソーシャルディスタンスの確保

③消毒

④検温等健康チェック

⑤換気

感染力の強い変異株が広がっていますが、対策としては基本的な上記5つであることを再度認し、徹底して行っていくことが大切です。

### 2 主催者・運営者は競技会・講習会を実施する上で、感染拡大をさせない社会的責任を強く意識をしてください。参加者に感染防止対策を徹底させるための方策を講じるようにしてください。

守れない場合は参加資格が認められない事を再周知しましょう。

守らざるを得ない方策を考えましょう。例) 入口と出口はそれぞれ一つに絞り、導線を確保。

### 3 マスク着用について、感染力の強いウイルスが増えていることから「不織布」マスクを推奨します。但し、プレー中に装着する場合は、「布・ウレタン」を熱中症・脱水症予防の観点から推奨します。

- 4 試合・大会時において、タオル等の個人で用いるものを区別して取り扱うことを推奨します。個人用のカゴを作るなどの工夫で、別々に取り扱う意識を高めましょう。
- 5 大会2日前からは濃厚接触者判定を避ける意味でも、自チーム以外との対外試合を行わないことを推奨します。
- 6 各大会においてスクリーニング目的にPCR検査や抗原検査を必須とすることは、推奨していません。  
＜参考＞新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針 第4版  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000788513.pdf>
- 7 ワクチン接種は政府も接種を推奨していますので本ガイドラインでも推奨しますが、強制をお願いするものではありません。  
ワクチン接種の副作用により、発熱・倦怠感を生じる可能性がありますので、すくなくとも競技会・講習会参加の1週間前には接種しないことを推奨します。理由として、発熱が参加可否判断になり得るためです。競技会・講習会参加時には4日前からの発熱の有無を確認しますが、この際に発熱が生じている場合にワクチン接種の副反応によるものか、感染による発熱なのか区別がつかないため、発熱37.5度以上が生じていれば参加不可とします。よって、ワクチン接種証明があっても参加可能にはなりません。  
またワクチン接種の有無によって、選手・関係者に誹謗中傷が起これないように留意して下さい。なお、ワクチン接種後に抗体ができ、効果が現れるのは、約2週間後とされています。  
ワクチン接種後の運動制限には個人差もありますので十分に注意するようにしてください。
- 8 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に感染した場合の競技復帰について、臨床スポーツ医学会より指針がでています。「診断確定後2週間は、軽症または無症状であっても運動休止が望ましい」とされており、この指針を参考に用いて、運動方法を検討することを推奨します。復帰の際に、不安やら何らかの自覚症状がある場合は、専門医と相談してください。

## 4) 感染対策

### 1 陽性者/濃厚接触者/体調不良者の定義

- ・「陽性者」とは、以下の症状の有無にかかわらず、「PCR検査・抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。  
新型コロナウイルス感染症が疑われる症状  
発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など
- ・「濃厚接触者」とは、陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。  
陽性者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者  
○適切な感染防護無しに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者  
○陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者  
○その他：手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、陽性者と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。
- ・「体調不良者」とは、以下の目安に該当する方と考えられます。

厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
  2. 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
  3. 比較的軽い風邪が続く。
- ※ 発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

## 2 感染対策者の設置

- ・参加チームは感染対策チーム責任者（以下チーム責任者）を設置してください。
- ・U12総務委員長は、感染対策責任者兼務、各地区理事長は各地区の感染対策責任者とする。
- ・各地区から再分割された下部団体（連盟等）がある場合は、下部団体にも感染対策責任者を設置する。

チーム責任者は、チーム内で体調不良者・濃厚接触者・陽性者が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。  
また、大会への不参加が決定された場合においても同様とする。

チーム責任者 → 地区理事長 → U12総務委員長 → U12部会長

チーム責任者は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

チーム責任者 → 地区理事長 → U12総務委員長 → 管轄保健所 → U12部会長  
→ 各地区理事長 → 関係チーム  
→ 審判委員長 → 各審判員

※役員で陽性者が出た場合も同様とする。

※U12総務委員長は各地区理事長に連絡をし、その後の対応を指示する。

※U12総務委員長は管轄保健所からの指示についてU12部会長へ報告する。

- ・チーム責任者は日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことが大切です。

## 3 参加者の連絡先の管理

主催者は、参加者の連絡先などを管理することが求められます。個人情報になりますので、個人情報保護法のルールに則って適切に管理する必要があります。

## 4 参加者への感染症対策の事前共有

競技会、講習会の主催者は、会場や感染状況などに応じて参加者用のガイドラインを作成し、参加者や参加チームに配布してください。

## 5 体温チェックシートの記録と管理

- ・チームスタッフ、選手等、大会の参加者は、大会が開始される2週間前から「体温チェックシート」で健康状態を観察・記録する必要があります。チーム責任者は管理を行ってください。
- ・会場に入場する選手・スタッフ・関係者等全員の健康チェックシート兼参加承諾書と体温チェックシートの提出が必要になります。エントリー外の選手の健康状態も2週間前からの観察・記録をお願いします。
- ・健康チェックシートにチェックがつかない場合、当日の体温が37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、大会感染対策責任者まで御報告ください。
- ・ご報告頂いた内容や相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。

## 6 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

- ・大会参加者は大会開催約2週間前までに、厚生労働省が開発した陽性者との接触を確認するためのアプリで(COCOA)をインストールしてください。参加者がCOCOAによって濃厚接触者と発覚した場合は、感染対策責任者は上記の連絡システムを参照し、連絡してください。事前に配布した「いばらきアマビエちゃん」のQRコードにも大会期間は毎日登録をお願いします。

【参考】厚生労働省:新型コロナウイルス接触確認アプリ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

## 7 以下の事項に該当する場合の自主的な参加のみあわせ（事業当日等にチェックリストにて確認）

- ・体調不良の場合（発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
- ・濃厚接触者である疑いがある場合（同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる）
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

## 8 競技会・講習会参加者全員のマスク常時着用

## 9 主催者が示す注意事項の遵守

## 10 競技会・講習会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告

## 11 事業実施中は可能な限り行動記録を記載（陽性者発生の際の濃厚接触者特定に役立ちます）

## 5) その他通知要項

- 1 大会への出場権を得たチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。

※ガイドラインの読みあわせを県大会推薦チーム決定後に実施します。(※オンライン会議可)

(地区大会) 各地区理事長 → 各チーム責任者 (代理可)
(県大会) 総務委員長 → 各地区理事長 → 各チーム責任者 (代理可)

※読み合わせに参加できないチームは大会参加を認めない

- 2 各チームの新型コロナウイルス感染対策責任者は、大会当日に健康チェックシート兼参加承諾書(入場する関係者全員分)と体温チェックシートを受付で提出し、会場への入場許可をもらうこと。(検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合がある)。感染対策責任者は、入場時と退場時に必ず本部に寄ってください。
- 3 「上記【参加資格】の1」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であつたとしても出場資格を取り消す場合がある。
- 4 政府や都県から新たな措置(緊急事態宣言や自粛要請等)が発出された場合は大会を中止する場合がある。

※大会を中止する場合の要件

- ・緊急事態宣言中
- ・茨城県バスケットボール協会より実施不可の指示が出た場合
- ・U12部会長の指示が出た場合
- ・大会を実施するのに十分な練習期間が保てない場合
- ・茨城県コロナNextステージ4の場合

## 6) 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

- 1 マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- 2 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。
- 3 スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。  
※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があると言われてい  
ますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。
- 4 タオルの共有はしない。
- 5 ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。

### (1) 諸室

- ・各部屋に手指消毒液を設置、定期的に換気を行うこと(使用する委員会が行うこと)
- ・可能な限り全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・座席を設置する際に十分な間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。

### (2) 手洗い場所・トイレ

- ・便器のふたを閉めて汚物を流すよう表示する。

## 7) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応

- ・もっとも大切にしなければならないことは、バスケットボール活動によって「**集団感染（クラスター）**・**感染拡大を起こさないこと**・**誹謗中傷を生みださないこと**」です。
- ・バスケットボール活動を行って良いのは「**感染していない者**」が大前提です。体調がおかしいと感じたら「**積極的に休むこと**」です。
- ・指導者・選手は練習を休むことに抵抗がある方もいるかもしれません。しかし、現在はこれまでの状況とは異なる状況にあることを受け入れてください。集団感染が発生すればより大きな支障が出ます。従って「やりたくとも辛抱すること」を指導者が選手に伝え、チーム全体の理解を促してください。
- ・日常的にチーム内に感染対策責任者（担当者）をおき、選手スタッフの健康チェックのみならず、選手スタッフのご家族の健康状況に変化がないかについても情報収集を心がけ、チーム内でクラスターが発生しないように注意を払ってください。
- ・活動の停止や大会参加の自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間で誹謗中傷が起こることがあってはなりません。事前にこの対応についてチーム内・関係者・保護者等と共通認識を持つ機会を作ってください。

### 【判断基準】

#### 体調不良者が発生した場合

- ・発症の前日、前々日までチーム活動があった場合、体調不良者（陽性か陰性が判断できない）と接触しているため、チーム活動を最低2日間おこなわないことを推奨します。
- ・前日、前々日とチーム活動がなかった場合（48時間以上接触なし）、他に体調不良者が存在しないことを確認後、チーム活動を行っても構いません。

#### 濃厚接触者が出た場合

- ・濃厚接触者は、保健所の指示に従って、自宅待機・隔離等の対応を取ってください。
- ・チーム内の陽性者との接触によって濃厚接触者となった場合、陽性者の症状が出た時点から48時間前までにチーム活動があった場合は、保健所による濃厚接触者の選定が決定されるまでは、チーム活動を自粛してください。（保健所や自治体の指示がある場合は従ってください）
- ・チーム外との陽性者との接触によって濃厚接触者となった場合で該当の濃厚接触者が無症状である場合、濃厚接触者認定日から48時間はチーム活動を制限してください。
- ・該当の濃厚接触者に発熱や感染症状がある場合は、検査結果が出るまで（または隔離解除となるまで）チーム活動を自粛してください。
- ・選手、スタッフの同居家族、同居者が濃厚接触者と特定された場合、選手、スタッフは濃厚接触者に該当しないため特別な制限はありません。ただし、濃厚接触者に感染が疑わしい症状を認めた場合は、選手、スタッフは自宅待機を行い、保健所または医師等に相談してください。

#### 陽性者が発生した場合

- ・陽性者は保健所の指示に従ってください。
- ・陽性者の症状が出た時点から48時間前までにチーム活動があった場合は、保健所による濃厚接触者の選定が決定されるまではチーム活動を自粛してください。
- ・保健所により濃厚接触者が特定された場合、陽性者/濃厚接触者以外のメンバーで活動再開することは可能です。但し、保健所や自治体からの指示がある場合はこれに従ってください。
- ・陽性者の症状が出てから48時間前までにチーム活動がなかった場合は、チーム活動を実施することは可能です。但し、保健所や自治体からの指示がある場合はこれに従ってください。

#### 濃厚接触者・陽性者が発生したチームの対応

- ・地区理事長へ報告してください。地区理事長は、県理事長、コロナ対策委員長へ報告をしてください。県理事長は、茨城県バスケットボール協会へ報告してください。

※大会参加については、判断基準を確認し判断してください。チームでの判断が難しい際には、各地区感染対策及び県コロナ対策委員長へ確認してください。

## 8) 移動・宿泊

### (1) 移動

- ・市町村間での移動の制約が出た場合、各地区理事長に相談のうえ指示に従ってください。
- ・大会開催前後の移動は最小限にしてください。
- ・移動の際は、チーム単位、個人単位で予防対策をしてください。
- ・移動中の会話は極力避けてください。
- ・移動中、移動後の手指消毒、手指衛生等に気をつけてください。

#### ①個人での移動について

- ・公共交通機関を利用しないことが推奨されます。
- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。できる限り個人で移動してください。

#### ②タクシーでの移動について

- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。

#### ③バスでの移動について

### I バス会社への依頼事項

- ・事前の車内消毒
- ・運転手の体調管理。マスクや手袋の着用。

### II バス使用時の留意点

- ・使用するバスのサイズにもよりますが、バス内の人数を減らす（隣り合った座席は1席空けるなど）ため2時間以上などの長時間のバス移動の際には、個人単位でも予防対策をしてください。

### III その他注意事項

- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。
- ・移動中は出来るだけ窓を開け換気を行ってください。（1時間に3回の換気が推奨されています）
- ・極力会話を避けてください。
- ・乗車前、降車後に手指消毒を行ってください。
- ・座席は隣同士での使用を避けてください。（2席横並びの場合、どちらかの席を空ける）
- ・空調などを使用し、バス内の空気の循環を良くしてください。
- ・サービスエリア等での休憩時もマスクの着用など感染予防対策を行ってください。

### (2) 宿泊

- ・なるべく大部屋は避け、ソーシャル・ディスタンスの確保、クラスターの可能性を避ける対策をとってください。
- ・一般客と交わる可能性のある大風呂はなるべく避けてください。

### (3) 食事

- ・会場内での食事は禁止です。

### (4) ミーティング

- ・基本的にWeb会議などをメインにして、極力対面を避けるように心がけてください。
- ・対面でのミーティングを行う場合は極力人数を絞り、常に社会的距離(できるだけ2m、最低1m)が取れる広い場所で行い、換気をこまめに行ってください。
- ・ミーティングを行う際は、出席者全員マスクを着用してください。

## 9) 大会開催期間中の留意点

- 1 観客人数制限での実施とします。制限人数については大会毎に案内致します。
  - 2 コロナウイルス感染防止のため、大会前・大会期間中（48時間）は練習試合等の自粛をお願いします。
  - 3 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策を行うと共に、会場内では更衣室、ベンチ等、他のチームも利用する場所の除菌には十分留意してください。  
※ベンチ、待機場所等、使用した箇所の消毒は各チームでお願いします。必要に応じて消毒液を設置すること。
  - 4 原則1面展開で実施してください。但し、3面取れる体育館の場合、中央のコートを使用せず両端2面で行う事は可とする。その際は必ずコート毎に入場口を分け、対戦相手以外の接触はさける事。またサブコートは別コートとして扱う。やむを得ず2面展開でゲームを実施する場合は、午前と午後でチームの完全入替えを行う事。また待機場所のスペースを広めに確保する事、入退場口を明確に分ける事、前の試合のチームがフロアから完全に退場してから次の試合のチームを入場させる事、ベンチ、TO席の消毒時間を取り確実に消毒を行う事等、感染対策を確実に行ってください。  
※各自治体の指示がある場合はそれに従う事。
  - 5 会場には前の試合の開始時間から入場できます。フロアへは前のチームがいなくなってから入ることができます。会場へは試合開始の1時間前に集合してください。それ以前に集合することがないように十分注意してください。但し、試合日程を前半、後半と分けて行う際は会場責任者（又はそれに準ずる者）の指示に従ってください。
  - 6 試合時間を90分に設定し、消毒、換気の時間を確保しますが、各自治体からの指示がある場合はそれに準じて進めてください。
  - 7 会場の入場時に、チーム責任者は健康チェックシート兼参加承諾書（スタッフ・選手・関係者全員分）、体温チェックシート、施設利用者名簿を受付で提出し、入場許可を受けてください。入場許可後は、各チーム検温実施時間に検温を行い、問題がなければ消毒を行って入場をお願いします。退場時も必ず本部に寄ってからお帰りください。必要書類を返却致します。
- |              | 大会参加承諾書 | 体温チェックシート | 施設利用者名簿 |
|--------------|---------|-----------|---------|
| 勝ち上がりチーム     | 返却      | 返却        | 受理      |
| 勝ち上りチーム（最終日） | 受理      | 受理        | 受理      |
| 敗退チーム        | 受理      | 受理        | 受理      |
- 8 TOはTO責任者の指示に従ってください。前後半での交代はしない。実施時には、マスクかフェイスシールドを着用。試合開始前後、クォーター間の手指の消毒を必ず行ってください。
  - 9 MCはマスクかフェイスシールドを着用してください。
  - 10 マスクはチームまたは個人で持参し、使い捨てマスクの場合、使用後は全てのごみとともにビニール袋に入れて持ち帰ってください。
  - 11 消毒用アルコールは主催側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、使用用具の消毒を実施してください。
  - 12 会場内での食事は禁止です。
  - 13 試合前、試合後に相手チーム、審判との握手・あいさつは実施しません。
  - 14 ハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
  - 15 倒れた選手に手を貸さず、審判やスタッフの指示に従ってください。
  - 16 ベンチではマスクを着用し、応援・会話を控えてください。
  - 17 サイドライン/ベンチにおいても適切なソーシャル・ディスタンスを確保してください。
  - 18 体調不良者がいた場合は、大会の辞退を促します。チーム責任者は事前に、出場辞退になることもあり得る旨を、選手・保護者に十分説明しておくこと。
  - 19 検温に関しては、「検温の流れ」を徹底してください。
  - 20 「健康チェックシート兼大会参加承諾書」「体温チェックシート」「施設利用者名簿」を大会期間中毎日提出してください。観覧者についても同様です。必ずチーム責任者が管理を行ってください。



# 検温の流れ（大会 2 週間前から）

## 〔2 週間前～大会前日〕

- ・ チーム責任者が健康状態に留意しながら責任をもって行き、体温チェックシートに記入。

## 〔大会前日〕

- ・ 体調不良者が発生した場合は、「7）陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応」を確認してください。また、各地区の感染対策者に報告して下さい。

## 〔当日〕

- ・ 各チームで集合し（試合会場とは別が望ましい）、チーム責任者が立ち会いのもと検温を実施し、体温チェックシートに記入。
- ・ 会場到着後は、「体温チェックシート」「参加承諾書」「施設利用者名簿」を受付に提出し、記載内容を会場の感染対策責任者が確認する。各チームの検温実施時間（事前に 1 チームごとに検温できるよう設定）に非接触型の体温計を用いて、体温のチェックを行う。

## 一日の流れ（チーム用）※ 会場到着から退場まで

- ・会場以外の場所でチーム責任者立ち合いのもと、選手、スタッフ全員の健康観察、検温を実施し、体温チェックシートに体温を記入する。



- ・会場に到着（試合開始1時間前及び各会場の指示に従う）  
※事前に会場到着時間を明記しますので、各チーム厳守してください。  
（コロナウイルス感染予防の観点から、トスアップ1時間前の到着を目安としてください。）



- ・チーム責任者が本部へ（手続きが終わるまで選手は入場できません。）  
（外か車内で待機してください。その際ソーシャル・ディスタンスをとるよう心がけてください。）



- ・「体温チェックシート」「参加承諾書」「施設利用者名簿」を提出し検温をおこなう。



- ・指定された待機場所へチームで移動する。
- ・指定された場所でアップを行う。（各会場の指示に従ってください。）



- ・試合を実施。（ベンチではマスク着用、ハドル禁止、声出しは控える）



- ・試合終了。自チームのベンチを消毒する。チーム関係者は、待機場所及び観客席等を消毒する。



- ・TOが予定されているチームは必要人数のみ残ってTOを実施。TOメンバー以外は指定の待機場所で待機する。



- ・U12部会コロナ対策委員は「体温チェックシート」に捺印し、勝ち上がりチームに、「参加承諾書」とともに返却する。